



にじいろレター



No.8

今回は各認定分野からのタイムリーなポイントについてまとめてみました。
明日からの看護に役立つ情報が盛りだくさんですよ★

がん化学療法看護

担当：新坂ともみ（PHS：4213），三輪真砂子（PHS：4475）

抗がん剤治療を受けている患者さんの排泄物や体液の付いたリネン類は、どのように取り扱っていますか？
多くの抗がん剤は、治療中から治療終了後 48 時間は、「抗がん剤曝露防止策を実行すべき時間」として、**特に注意が必要**とされています。

看護者の職業性曝露を防ぎ、安全に業務を進める為には、①調整・与薬準備のための環境整備、②防護具の活用（ニトリル性の二重手袋、マスク、ゴーグル、エプロン、必要時のヘアキャップ）、③安全な薬剤の取り扱い（調整・与薬準備、保管・搬送、与薬、こぼれた薬剤の処理、抗がん剤付着物の廃棄、曝露時の緊急対応）、④治療中の患者へのケアにおける注意事項（排泄物の取り扱い、リネン類の取り扱い、患者と家族の曝露防護）という4つの原則が重要です。

自分自身の安全を保持するために、抗がん剤曝露予防対策についてもう一度振り返ってみましょう。

表1 尿中に薬剤の残留が認められた時間と薬剤名

尿中残留 48 時間未満	イホスファミド(イホマイド®)、塩酸ダウノルピシン(ダウノマイシン®)、イリノテカン(トポテシン®)、メルファラン(アルケラン®)、マイトマイシン(マイトマイシン®)、カペシタピン(ゼローダ®)、フルダラピン(フルダラ®)、パクリタキセル(タキソール®)、カルボプラチン(パラプラチン®)、ダカルバジン(ダカルバジン®)など
72 時間後の尿中残留	硫酸プレオマイシン(プレオ®)、シクロホスファミド(エンドキサン®)、メトトレキサート(メソトレキセート®)
4 日後の尿中残留	硫酸ピンブラスチン(エクザール®)、硫酸ピンクリスチン(オンコピン®)、エトポシド(ヘプシド®)
5 日後の尿中残留	アクチノマイシン D(コスメゲン®)
6 日後の尿中残留	塩酸ミトキサントロン(ノバントロン®)、ドキシソルピシン(アドリアシン®)
7 日後の尿中残留	塩酸エピルピシン(ファルモルピシン®)、シスプラチン(ランダ®、アイエーコール®)、ゲムシタピン(ジエムザール®)、ドセタキセル(タキソテール®)、メシル酸イマチニブ(グリベック®)

Oncology Nursing Society, SAFE HANDLING of Hazardous Drug, Pittsburgh:ONS, 2003;p28

集中ケア

担当：坂本郁代（集中治療部 : 3195）

ICU-AW (Intensive care unit - acquired weakness) とはということかご存知ですか？

寝たきりの廃用性萎縮とは異なります。その正体は、「**末梢神経障害**」で特徴は、①敗血症や人工呼吸器離脱困難など重症患者に多い②筋力低下は対称性に発生し、弛緩性の麻痺様で頭部・顔面は障害されにくい③ごく短期間でも発症する可能性があると言われています。

予防策は、原疾患・炎症・血糖コントロールで、人工呼吸器使用中の過鎮静を避け、早期離床と四肢の関節可動域 (ROM) エクササイズを計画的に継続することです。

重症患者さんの ICU-AW を防止するためのリハビリを実践しましょう。

がん性疼痛看護

担当：山下智子（4階西病棟：3293）

がん性疼痛に対して貼るだけで疼痛が緩和できる、**フェンタニルパッチ**があるのを知っていますか？フェンタニルパッチを使用する時は、患者さんの貼付する予定の皮膚表面は清潔にした後に貼付します。貼付後は、**看護師の掌で15秒圧迫**します。圧迫の目的は、圧迫による保温によって皮膚吸収が開始すること、また、貼付期間が3日間と長い期間である為、密着した貼付が必要です。貼付する際は気を付けてくださいね。

感染管理

担当：福田真弓（PHS：4465）、武田千穂（PHS：4250）

平成24年度の診療報酬改訂で、感染対策は過去最高の評価の加算となったのをご存知ですか？入院初日に500点（つまり5000円）となり、当院の場合約4700万/年の増収となります。つまり、感染対策がますます重要視されているという事です。

1人では感染対策はできません。みなさん**1人ひとりの対策**が必要です。

まずは、速乾性手指消毒剤の適切な使用から見直しませんか？



緩和ケア

担当：福留麻希（PHS：4385）

6月から**エンゼルメイクセット**を導入しました。SPDで取り寄せることができますが、カミソリ**あり**とカミソリ**なし**がありますので、ご注意ください。使用法の紹介DVDを各病棟へ配布しています。不明な点があれば、福留まで連絡をください。また、ケアの物品使用の有無にかかわらず、エンゼルケア料金（5250円：浴衣代は別途）がとれるようになりました。

原則全患者対象ですが、家族の希望でケアを行わなかった場合は、医事課への連絡が必要となります。ケアを行ったときは、**電子カルテの看護タスク内にある看護処置のエンゼルケアを選択、実施**を忘れないようにお願いします。

皮膚・排泄ケア

担当：児玉裕子（PHS：4376）、竹生まゆみ（総合周産期母子医療センター：3186）、望月祐美（PHS：4190）

これから蒸し暑い夏がやってきます。

オムツの中や、皮膚の密着する部分（首や脇の下、股の間など）は非常に蒸れた状態となります。皮膚が蒸れると細菌や真菌が繁殖し、**真菌症（カンジダ症）**になることがあります。

その予防には、皮膚を清潔に保つこと、**蒸れない環境を作ることが大切**です。洗浄剤を用いて汚れを落とし、乾燥している場合は保湿剤を使用して保湿するという日々のスキンケアが、これからの季節は特に重要です。



カラージュフルフル: 抗真菌成分(硝酸ミコナゾール)に加え、殺菌成分(トリクロサン)入りの洗浄剤。

このような洗浄剤の使用は、細菌だけでなく真菌の増殖を抑えることに役立ちます。ドラッグストアに売っています。

